



日本大学文理学部国文学科  
日本語基礎演習 2



0313066 黒川真生  
0313101 井上義孝

はじめに

月9のヒロインからみる方言ステレオタイプ

吹き替え作品での関西弁の扱い方

漫画と実写化映画の方言

方言ステレオタイプの反映の程度

漫画における方言の扱われ方

少女漫画における大阪方言

漫画における広島弁キャラのステレオタイプとの比較

おわりに

検索

2.1 調査概要

- ・フジテレビ月曜9時放送の連続ドラマ（4以下月9）において、ヒロインが方言を使用している割合を知る。
- ・方言を使用しているヒロインのセリフからわかる方言の扱われ方や、方言ステレオタイプとの関係を知る。

2.2 調査概要

・調査対象の抽出方法

2000～2014年9月までの月9（全57作品）の一話を見て、ヒロインが方言を使っているかどうかを調査する。その後方言を使用しているドラマの中間回と最終回を閲覧し、ヒロインのセリフ数や方言使用セリフ割合を抽出する。

・調査対象リスト

表1 調査対象ドラマ一覧

放送年	作品名	ヒロイン名	方言使用
2000	二十年の恋	真代 理博	×
2000	天竺子報の恋人	原田 早知	×
2000	バーストッ	小谷 夏生	×
2000	やまとなでしこ	神保 博子	×
2001	HERO	高宮 舞子	×
2001	ラブ・レボリューション	滝広 静子	×
2001	できちゃった結婚	小谷 千ヨ	×
2001	アンティーク～西洋骨董洋菓子店～	飯塚 裕子	×
2002	人にやさしく	榊のそみ	×
2002	恋から来る一雫の星	飯島 優子	×
2002	ランチの女王	本田 なつみ	×
2002	ホーム&アウェイ	中森 かみで	×
2003	いつもふたりで	谷町 雅樹	×
2003	東京ラブ・シネマ	伊月 晴子	×
2003	僕だけのマドンナ	片岡 ずるみ	×
2003	ビザナ	梶 由子	×
2004	プライド	村瀬 忍樹	×
2004	愛し君へ	友川 四季	×
2004	東京発着～Destiny of Love～	李 美香	×
2004	ラストクリスマス	青井 由香	×
2005	不連続なシーン	青井 仁子	×
2005	エンジン	水崎 明美	×
2005	スローダグズ	笠野 京珠	×
2005	危険なアネキ	菅川 真子	○
2006	西遊記	三城 浩介	×
2006	トップキャスター	橋本 香香	×
2006	ザプリ	藤井 ミナミ	×
2006	のだめカンタービレ	野田 恵	×
2007	東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン～	佐々木 まなみ	×
2007	プロポーズ大作戦	井田 礼	×
2007	ファースト・キス	橋本 美緒	×
2007	ガリレオ (第1シリーズ)	内海 薫	×
2008	睡蓮のない花園	白戸 美桜	×
2008	CHANGE	美山 晴香	×
2008	太陽と海の教室	櫻井 若葉	×
2008	イノセント・ラブ	秋山 佳音	×
2009	ヴォイス～命なき者の声～	久保秋 佳子	×
2009	嫁カツ!	滝田 春乃	×
2009	プザー! ビート～崖っ赤のヒーロー～	白河 莉子	×
2009	東京DOGS	松本 由城	×
2010	コード・ブルー～ドクターヘリ緊急救命～ 2nd season	白石 恵	×
2010	月の恋人～Moon Lovers～	二宮 真由美	×
2010	夏の恋は虹色に輝く	北村 舞織	×
2010	流れ星	岡田 梨沙	×
2011	大切なことはすべて君が教えてくれた	上村 夏実	×
2011	幸せになろうよ	柳沢 真実	×
2011	全開ガール	鮎川 若葉	×
2011	私が恋できない理由	藤井 美実	×
2012	ラッキーセブン	水野 雅也	×
2012	鍵のかかった部屋	青塚 純子	×
2012	リッチマン、ブアーマン	夏井 真琴	×
2012	PRICELESS～あるわけねえだろ、んなもん～	二階堂 彩矢	×
2013	ピプリア吉原屋の事件手帳	藤川 真子	×
2013	ガリレオ (第2シリーズ)	岸谷 美紗	×
2013	SUMMER NUDE	千代田 夏希	×
2013	海の上の診療所	戸神 真子	×
2014	先恋ショコラタイエ	高橋 紗綾子	×
2014	帰郷がんぼ	神崎 守	○
2014	HERO (第2シリーズ)	麻木 千佳	×

2000～2014年9月までに放送された月9（全57作品）

・分析の方法

ヒロインのセリフからわかる標準語と方言の割合や使用割合を抽出し、それがどのような意味を持つのかを考察する。その後、抽出したデータと『国文』（2012 142巻）の「イメージからみた方言ステレオタイプ」中の方言イメージの表とヒロインの性格を比較する。

2.3. 月9における方言使用の有無

全57作品の一話を調査したところ、ヒロインが方言を使用している作品は2作品だけでありおよそ4割であった。月9で方言ヒロインが用いられることはほとんど無いことが取組みれた。

→ 2.4. ドラマ『危険なアネキ』における方言（井上義孝）

→ 2.5. 『帰郷がんぼ』（黒川真生）

2.6. 全体のまとめ

2000～2014年9月までに放送された57作品のうち、わずかに2作品しか方言ヒロインが登場しないという点は非常に興味深かった。ステレオタイプについては『危険なアネキ』と『帰郷がんぼ』で異なる結果となった。『危険なアネキ』では、方言が暗黙的なステレオタイプを示すのではなく、方言自体がもつステレオタイプを提示しているのではと考えられた。その一方で『帰郷がんぼ』は広島弁のもつステレオタイプとヒロインの性格が合致しており、ヒロインのキャラクターをイメージさせやすくなるための役割が方言に与えられている。

【参考文献】

金水 敏・田中 中か・岡本 美奈子 (編) (2014) 『ドラマと方言の新しい関係 『カーネーション』から『八重の桜』、そして『あまちゃん』へ』 笠間書院  
田中 中か (2012) 『イメージからみた方言ステレオタイプ』、『国文』142 106-92 日本大学国文学会

【参考サイトURL】

テレビを毎日  
http://cozaiweb.com/ctv/shinyo/mon9drama.html  
フジテレビ  
http://www.fujitv.co.jp/drama/index.html